

## 「相互塾」発足の主旨と、おしゃべりサロン「相互塾」の展開

2008年5月24日

### 公開講座「相互塾」の発足 (2000年3月28日第1回開催)

#### …主旨:

近代的な構造の住宅、車社会を強固なものにする道路網、急速な進歩の最近の多様なメディアなどの発展は、人々との交流を失う原因になっているように見られます。特に、世代間の Face To Face の交流はほとんど無くなっていると言えます。

そのような現代、3世代以上にわたって、交流できるサロン風の場を造り、その場を誰でも自由に参加でき、かつ自由な意見の発言ができる場が求められているのではないのでしょうか。そして、ややもすると、地域から離れていってしまうような人達が、「相互塾」に参加することによって、まことに愛着を持ち、まちづくりの一員となっていく、そんな出会いも楽しいかなと考えます。

その活動のなかで、共通テーマが見えてくれば、それに賛同する人達が新しくグループを作って、活動するようなことにもほのかな期待を寄せています。

#### …相互塾の進め方:

1. 参加メンバーの誰かが、ご自分の得意とするテーマについて、1時間前後を目途にプレゼンテーションを行う。  
その方法は自由とし、内容の程度は問わない。
2. 残り1時間をフリーディスカッションとし、2時間の会とする。懇談の時間は適宜設定する。
3. 司会は、原則として、プレゼンターが担当する。
4. 開催日は、当面、月1回とする。将来は増やしていく。
5. 将来、複数の場所で行い、それら相互に連携するネットワークを構築する。

### 第1回のテーマ: 「映像の影響力について」

日時: 平成12年3月28日(火)午後7時~9時

場所: 総合福祉センター(調布駅南口グリーンホール南隣)2階203号室

内容: 映像技術の進歩によって、テレビ、映画、インターネットなどがスーパーメディアと言われるようになった現代の社会で映像がもたらす影響について考え、みんなで自由なディスカッションを行う。

#### “おしゃべりサロン「相互塾」”今後の計画

2000年7月31日

- ・愛称は、“おしゃべりサロン「相互塾」”とし、市報その他での案内などに使用する。
- ・スピーカーには、会員以外の人にもお願いし、交流の範囲を広げる。
- ・スピーカーを複数名で行うことも、積極的に検討する。
- ・野外での取材と組み合わせると、面白いことが出来る時には、検討する。例えば、調布不思議発見の写真撮影行。【「午後のティーサロン~音楽&映画への語らい~」(2002年7月発足)、「うたごえサロン」(2003年2月発足)、中高生向け「数学おあそびサロン」(2004年1月発足)】

#### 「相互塾」に親しみを持ってもらうために

2001年6月25日

私達の日常生活では、近代化の波を強く受けて、暮らしは少し良くなったように思いますが、人々との交流の広がり、特に世代間の触れ合いの機会は失われているように感じられます。私達にとって大切な伝統を若い世代へ伝えていくことを難しくしています。3世代以上の人達の触れ合いを広げるため始めた相互塾を、ソーシャル・ファミリーへ!

#### ソーシャル・ファミリーとしてのサロン・ネットワーク造り元年

2003年6月30日

【サロンの形式はもちろんのこと、集まる時間も場所も広げて、サロン・ネットワーク造りを目指しています】  
サロンの候補として、「国際(留学生)交流」、「調布の観光」、「緑ヶ丘相互塾」、「美術観賞」との声が聞こえてきます。これらのサロンを進めるキーマンによって、2003年はサロン・ネットワーク造り元年になります。

#### 音楽演奏を加え、さらに親しみを深める

2008年5月24日

語り手のプレゼンテーションとフリーディスカッションの間に音楽演奏を入れ、硬くなりがちな雰囲気とを和らげ、そして、開催日時を休日の午後に変えて、多くの人が参加できるようにしました。多世代の交流が深まることを期待しています。